



令和 6 年度（第 3 4 期）決算について

過去最高の輸送人員 & 運輸収入！10 期連続の黒字を達成！



埼玉スタジアム線キャラクター
たまごぶつ

埼玉高速鉄道株式会社（埼玉県さいたま市 代表取締役社長 平野 邦彦）は、令和 6 年度決算をとりまとめましたので、お知らせいたします。

令和 6 年度決算の概要

■ 営業利益・経常利益は増収増益

- 輸送人員：12.3 万人／日、前年比 + 5.9% **過去最高**
- 運輸収入：92.9 億円、前年比 + 6.0% **過去最高**
- 営業収益：104.9 億円、前年比 + 5.7% **5 年ぶりの 100 億円超え**
- 営業費：70.4 億円、前年比 + 3.7%

■ 当期純利益は 10 期連続の黒字を達成

- 過年度の赤字の繰越控除期間が終了し、
利益にかかる税金（法人税等）を初めて納めるため、**減益**

輸送人員

景気の回復や沿線開発の進捗により、1 日当たりの輸送人員は、123,384 人（前年度比 6,842 人増、5.9%増）となりました。なお、令和元年度と比較した回復率は 101.3%となり、コロナ禍前の水準を上回るとともに、**過去最高**となりました。輸送人員の推移については、以下のとおりです。

（単位：人／日）

年度	定期		定期外		合計	
	輸送人員	令和元年度 比較	輸送人員	令和元年度 比較	輸送人員	令和元年度 比較
令和6年度	80,731	91.3%	42,653	127.6%	123,384	101.3%
令和5年度	76,768	86.9%	39,774	118.9%	116,542	95.7%
令和4年度	71,847	81.3%	36,180	108.2%	108,027	88.7%
令和3年度	66,224	74.9%	30,700	91.8%	96,924	79.6%
令和2年度	68,346	77.3%	24,895	74.4%	93,241	76.5%
令和元年度	88,388	100.0%	33,440	100.0%	121,828	100.0%

※率は表示単位未満を四捨五入で処理しています。

■ 業績（損益）

運輸収入は、輸送人員の増加により、92億96百万円（前年度比5億25百万円増、6.0%増）となりました。なお、令和元年度と比較した回復率は102.8%となり、コロナ禍前の水準を上回るとともに、**過去最高**となりました。

営業利益は34億50百万円（前年度比3億12百万円増、10.0%増）、経常利益は32億62百万円（前年度比3億4百万円増、10.3%増）、当期純利益は20億25百万円（前年度比2億39百万円減、10.6%減）を計上し、**10期連続の黒字**を達成することができました。

<比較損益計算書の要旨>

（単位：百万円）

	令和6年度	令和5年度	増 減	増減率
営業収益	10,498	9,935	562	5.7%
運輸収入	9,296	8,771	525	6.0%
運輸雑収	1,202	1,164	37	3.2%
営業費	7,048	6,798	250	3.7%
営業利益	3,450	3,137	312	10.0%
営業外収益	19	9	10	111.9%
営業外費用	207	188	18	10.1%
経常利益	3,262	2,958	304	10.3%
特別利益	-	0	△ 0	-
特別損失	1	0	0	385.0%
税引前当期純利益	3,261	2,958	303	10.2%
法人税・住民税及び事業税	1,248	0	1,248	-
法人税等調整額	△ 12	693	△ 705	-
当期純利益	2,025	2,264	△ 239	△ 10.6%

※金額は表示単位未満を切捨て、率は表示単位未満を四捨五入で処理しています。

今後も埼玉高速鉄道は、鉄道事業者の使命である安全・安定・安心輸送の確保を礎に、より快適なお客様サービスの提供や経営基盤の強化等に取り組んでまいります。

このリリースに関するお問い合わせ先

埼玉高速鉄道株式会社

経営企画本部 総務部

048-878-6847

本日、この記者発表資料は、下記の記者クラブにお届けしています。

○ときわクラブ ○埼玉県政記者クラブ ○川口記者クラブ ○さいたま市政記者クラブ